

## 2 予算案のポイント

### 「確かな暮らしが営まれる美しい信州」の実現に向けて

第2期長野県食と農業農村振興計画に位置付けた、「夢に挑戦する農業」と「皆が暮らしたい農村」を施策の柱とし、特に、「信州創生」の観点から、農業の「稼ぐ力」を伸ばすため、付加価値の高い農産物の生産やコストの削減などにより農業所得の向上を図るとともに、食の「地消地産」による地域経済循環や観光と連携した取組など、信州らしい農村の創造に向けて、関係部局等と連携を図り、一体となって事業を推進します。

#### 夢に挑戦する農業

新規就農者の誘致や担い手への農地集積・集約化による経営規模の拡大など、地域の中心となる経営体を育成するとともに、付加価値の高い農畜産物の生産拡大、革新的農業技術の開発や新たな経営改善指導による経営の効率化、農産物の輸出促進、6次産業化の取組拡大などにより、農業所得の向上を図ります。

#### 夢ある農業を実践する経営体の育成

- ◆ 「日本一就農しやすい長野県」の実現のため、新規就農者の誘致拡大に取り組むとともに、就農希望者が就農を決断するための短期間農家研修や農業経営感覚の早期醸成に向けた研修の新設など、体系的に実施している支援策を充実します。
- ◆ 地域農業の持続的発展を図るため、地域の中心となる農業経営体の育成や農地の集積・有効利用を支援します。
- ◆ 農業生産性の向上を図るため、農地中間管理機構を活用して担い手への農地集積・集約化を行う市町村等の生産基盤の整備を支援します。

#### 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産

- ◆ 付加価値の高い県オリジナル品種の戦略的な拡大、産官学連携による革新的な農業技術の開発や、新たな経営改善指導の導入による経営の一層の効率化など、収益性の高い農業を展開します。
- ◆ 「信州ワインバレー構想」を推進するため、ワイン産地の形成に向けた人材育成を進めるとともに苗木の増産や栽培情報のプラットフォーム構築により、ワイン用ぶどうの安定生産・高品質化に取り組めます。
- ◆ 環境と調和のとれた農業を促進するとともに、国際的に通用するGAP（農業生産工程管理）認証の取得等を推進します。

## 信州ブランドの確立とマーケットの創出

- ◆ 県産農産物等の安定的で継続的な商業ベースの輸出を拡大するため、輸出に積極的に取り組む「長野県農産物等輸出事業者協議会」の海外展開を支援します。
- ◆ 地域の農業者が商工業者と連携して農産物の加工などに取り組み、新たな雇用や所得を生み出す6次産業化事業体を育成します。

## 皆が暮らしたい農村

人口減少社会への対応として、食の「地消地産」を推進し、地域内で農産物が活用され地域経済が循環する農村を構築するとともに、農業資源を観光資源として活用する取組を支援し、農業・農村の活性化を図ります。

- ◆ 県内のホテル・旅館等で活用する食材について、県外産から信州産食材への「置き換え」を進めるとともに、学校給食においても信州産食材の利用拡大を図り、食の「地消地産」の取組を促進します。
- ◆ 農業・農村の有する多面的機能や中山間地域における農業生産活動など、農業・農村を維持する地域の共同活動の取組を支援します。
- ◆ 信州DCキャンペーンや地域DMOと連携し、地域農産物の利用拡大を促進します。
- ◆ 「信州の釣り」や、農業水利施設等有する歴史や文化、伝統、景観等の魅力を、観光資源として発信し、農村地域の活性化を図ります。